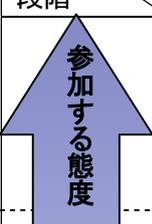


1 環境教育の3つの内容と「つきたい力」をもとにした、具体的な項目の例

次の表は、p. 16の表2に示した「つきたい力」をもとに、具体的な項目を例示したものです。各学校の実情や児童生徒の実態に合わせてこれらの項目を取捨選択したり、新たな項目を盛り込んだりする等して、自校の学習プログラムの枠組みを作成します。

内容 段階	「人間と自然環境」「人と人」「人と社会」とのかかわりに関すること	科学的な視点を踏まえた、客観的かつ公平な態度に関すること	環境にかかわる内面の成長に関すること
 参加する態度 の育成 問題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい環境づくりの活動に自ら参画する ・身近な環境の保全対策を自ら立案する ・自然を利用して快適に生活する工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した共存共栄のための取組みを理解し、自分が今できることを行う ・生活スタイルについて異なる考えをもつ人同士で意見をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の生活と同じ質を維持した生活を将来にも残そうと行動する ・自分の幸福と同時に他の人の幸福を考えた行動をする
	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協働して課題解決を行う ・他者の意見を受け入れ、自分の考えをよりよくする ・他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る ・自分の意見と他の人の意見の違いを比べてまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな生活スタイルが環境負荷の少ないスタイルか判断する ・自分の意見とは異なる意見についても科学的に判断する ・考えを多面的にみる ・将来の自然環境について根拠を挙げて予測する 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者のために行動することで役割を果たすことの大切さを実感する ・自分の行動が他者に与える影響を認識する ・自分の信念に基づく責任ある行動をする
	理解の深化	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の影響で生態系が変化している事例を知る ・生態系の構造とつながりを学ぶ ・社会における様々な職業のつながりについて調べる ・金融や物流を知る ・いろいろな意見を聞き、違いを許容する ・自分の地域における生活スタイルと違う生活スタイルを許容する ・いろいろな地域の伝統的な文化を知る ・いろいろな生物の暮らしについて学ぶ ・自分の将来を考え発表する ・いろいろな世代の人の話を聞く ・リサイクルに関する活動をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題の原因について資料や観察記録をもとに話し合う ・現在行っている環境活動の取組みについて長所と短所を挙げ、比較する ・資料や統計等を活用して環境問題について説明する ・環境問題に関する情報を集め、その情報源について検討する ・生態系の中における人間の位置を知る ・エネルギー、資源、物質循環、生物濃縮の仕組みを科学的に理解する ・消費者としての自覚をもつ ・大量生産・大量廃棄によって資源が無くなることを知る
関心の喚起	<ul style="list-style-type: none"> ・山形の四季の特徴を知る ・地域の伝統行事の意味を知る ・自然の中で遊ぶ ・動植物を世話したり育てたりする ・地域の行事に参加する ・友だちとかかわる ・家族とかかわる ・自分の考えを話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然のエネルギーを活用した機械や施設を知る ・いくつかの事物や現象を比べる ・自然を実体験する ・身の回りの変化に気づく ・身の回りの出来事に疑問を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「もったいない」の心をもつ ・他人を大切にする ・自分を大切に感じる

*矢印は、段階を通じた連続性を表したものです。